

## 抗 U1 snRNP C (U1C) 抗体, ラット モノクローナル (4H12)

70-400

100 µg

**保存:** 4°Cまたは-20°Cで送付、-20°Cで保存。

**抗原:** リコンビナント GST-融合 マウス U1C タンパク質 (全長)

**形状:** 精製モノクローナル抗体 (IgG) 1mg/ml in PBS-, 50% glycerol, 濾過滅菌

**アイソタイプ:** ラット IgG 2a κ

**反応性:** ヒト、サル、マウス U1C。他の種はテストしていない。

**用途:**

1. ウェスタンブロッティング    2. 免疫細胞化学    3. 免疫組織化学 (凍結切片)    4. ELISA

**背景:** スプライソソーム **U1C** タンパク質 は U1 small nuclear ribonucleoprotein particle (**snRNP**) の構成タンパク質であり、mRNA の前駆体 (pre-mRNA) スプライシングの開始、制御に重要な働きをしている。**U1C** タンパク質 は U1 snRNP の 5' スプライス 部位への結合に必要であると考えられている。

この抗体は無血清培地で培養されたラット ハイブリドーマの培地から独自のクロマトなどのマイルドな方法によって精製されたものである。

**データリンク:** Swiss-Prot [Q62241](#) (マウス), [P09234](#) (ヒト)

**文献:**

- Muto Y *et al* "The structure and biochemical properties of the human spliceosomal protein U1C." *J Mol Biol* **341**: 185-198 (2004) PMID: [15312772](#)
- Pomeranz Krummel DA *et al* "Crystal structure of human spliceosomal U1 snRNP at 5.5A resolution." *Nature* **458**: 475-480 (2009) PMID: [19325628](#)

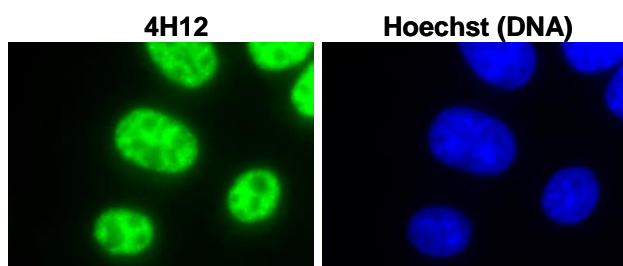


図1 4H12抗体によるL929(マウス)細胞における免疫染色

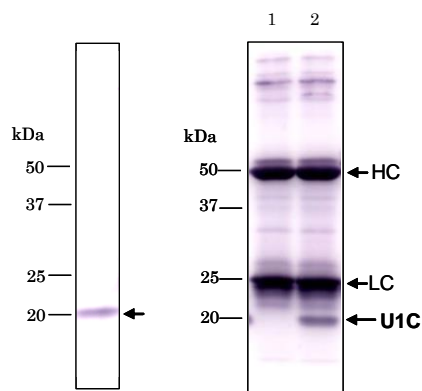


図2 4H12抗体を用いたウェスタンブロッティングによるHeLa細胞全抽出液におけるU1Cタンパク質の検出

図3 4H12抗体によるU1Cタンパク質の免疫沈降  
 レーン1: 抽出液なし  
 レーン2: HeLa細胞全抽出液  
 HC, LC; IgG heavy & light chain